

# 日本林業

発行：一般社団法人 日本林業協会  
〒 112-0004  
東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル3階  
TEL. 03-6801-8931 FAX. 03-6801-8932  
編集・発行人 島田 泰助

## 自民党・総合農林政策調査会、 農林部会、林政対策委員会 合同会議において決議文が採択!!

### 協会からの

#### 情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

(毎月25日発行)

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

(毎月5日発行)

いずれも土日祭日は繰り  
下げ発行となります。



### 目次:

自民党総合農林政策・ 農林部会等合同会議で 決議文採択	1 ~ 2
森林整備・治山事業促 進議連が林野公共事業 予算に関する決議採択	3
国会・業界 行事日程(5月)	4

去る5月25日(木)14時から開催された、自民党の総合農林政策調査会、農林部会、林政対策委員会合同会議において、『国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に向けた森林・林業・木材産業政策の展開について(案)』の審議が行われ、修正意見の扱いを中谷委員長、江藤会長及び武部部会長に一任した上で、最終的に決議が採択されました。



合同会議においては、冒頭、江藤 拓(えとう たく)総合農林政策調査会長、武部 新(たけべ あらた)農林部会長の御挨拶に続いて、中谷 元(なかにげん)林政対策委員長からご挨拶及び林政対策委員会による「木造ビル現地視察」の報告並びに決議『国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に向けた森林・林業・木材産業政策の展開について(案)』の趣旨についての説明が行われた後、自民党政務調査会事務局から決議(案)が読み上げられました。

その後、質疑・意見交換が行われ、出席議員のうち、小島敏文(こじま としふみ)衆議院議員(比例中国)、石川昭政(いしかわ あきまさ)衆議院議員(比例北関東)、東国幹(あずま くによし)衆議院議員(北海道6区)、平沼正二郎(ひらぬま しょうじろう)衆議院議員(岡山3区)、加藤竜祥(かとう りゅうしょう)衆議院議員(長崎2区)、岩本剛人(いわもと つよひと)参議院議員(北海道選挙区)、進藤金日子(しんどう かねひこ)参議院議員(比例代表)から、出席した林野庁幹部への質問や要望事項が出され、織田央(おりた ひろし)林野庁長官等から答弁が行われました。

決議(案)への修正意見も出されたため、中谷委員長、江藤会長及び武部部会長に修正を一任することとして、最終的に決議は採択されました。

なお、5月30日(火)、中谷委員長をはじめとする17名の議員が農林水産省を訪れ、野村 哲郎(のむら てつろう)農林水産大臣に決議文の申し入れを行いました。〈注：決議文は次ページに掲載〉

# 決議 『国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に向けた森林・林業・木材産業政策の展開について』

国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に向けた森林・林業・木材産業政策の展開について

令和五年五月二十五日  
自由民主党政  
総合農林政策調査会  
農林部会  
林政対策委員会

近年、ロシア・ウクライナ情勢等により、国内の木材需給が大きく変動する等、輸入材に過度に依存するリスクが顕在化しており、国民生活に不可欠な木材を確保する観点から、国産材を安定的かつ持続的に供給していくことが極めて重要となっている。さらに、気候変動等に対応し、我が国もカーボンニュートラルの実現と、森林・林業・木材産業による経済・社会のGX、循環型社会の実現に向けた取組を強力に推進していかなければならない。

このため、党では、現地調査により現場の優れた取組を实地で確認するとともに、先駆的な取組等を行っている川上・川中・川下それぞれの事業者や団体へのヒアリングを精力的に行ってきたところである。

他方、花粉症が我が国の社会問題とも言える状況になってきている中、政府においては、「花粉症に関する関係閣僚会議」を設置し、総理指示の下、花粉症について、政府一体となった取組を強く進めようとしているところであり、花粉発生源対策としても、これまで取り組んできた「伐つて、使つて、植える」循環利用を強力な予算措置により加速させていく必要がある。

このような情勢を踏まえ、左記に示す政策について、必要な予算を安定的かつ十分に確保した上で、着実かつ強力に推進すべきである。さらに、ヒアリング等で明らかとなった課題等について、引き続き検討を加え、所要の措置を講ずるべきである。

## 記

### 一 国産材の安定的・持続的な供給体制の構築

国産材の供給力強化に向け、路網や林業機械、資源情報など生産基盤の確保、人材育成、加工流通施設の整備や、これらを通じた川上から川下に至る国産材のサプライチェーンの構築・強化、JAS規格の基準合理化等と併せJAS製品供給強化の取組を推進すること。あわせて、地域一体となったスマート・デジタル技術の活用に向けた取組を推進すること。

また、供給力強化と不可分のものとして、国産材の安定需要の獲得に向け、木材に係る技術開発・普及、木造建築を担う人材の育成、中小工務店への支援等の環境整備を図りつつ、住宅分野等における国産材への転換促進、非住宅分野や中高層木造建築等における木材利用の拡大、都市の木造化推進法に基づく協定の締結推進、付加価値の高い木材製品の輸出促進等の取組を推進すること。

### 二 森林・林業の持続性の確保

主伐・再造林時代に対応し、国土強靱化を図るとともに、将来にわたって森林資源が循環利用されるよう、森林の経営管理の集積・集約や境界の明確化、再造林を促進するとともに、伐採と造林の一貫作業や下刈回数削減等の造林の低コスト・省力化、花粉対策にも資するエリートツリー等の活用や苗木の供給強化、シカ等の鳥獣被害対策の促進、路網整備、林業機械の導入を図ること。あわせて、治山対策を強化しつつ、上下流が連携した森林整備・木材利用の取組を促進すること。また、林業機械の自動化・遠隔操作化に向けた開発・実証、通信環境の整備等、スマート・デジタル技術の活用を促進すること。

さらに、適切な伐採を確保するとともに、合法伐採木材等の利用を促進するため、改正クリーンウッド法の施行準備を急ぐこと。加えて、航空レーザー計測等による資源情報の整備・公開等を加速すること。

### 三 花粉発生源対策

スギ人工林を花粉の少ない森林へ転換していくため、花粉の少ない苗木の生産を拡大するとともに、伐採や再造林等を担う労働力の確保、路網整備、林業機械の導入等を強力に推進し、スギ人工林の伐採・植替え等を加速化すること。

同時に、スギの伐採・植替え等を進める前提としてスギ材の需要拡大が不可欠であるため、加工流通施設の整備、住宅分野や中大規模建築物等におけるスギ材製品の需要拡大、国内市況安定対策を講ずること。

また、花粉発生源対策の強化に必要な予算を追加的に確保すること。

### 四 担い手の確保・育成

引き続き、「緑の雇用」事業等による新規就業者の確保・育成等を図るとともに、自動走行技術等を備えた林業機械の開発・導入も含めた労働安全など林業・木材産業における労働環境の向上に係る取組、賃上げに向けた取組、他産業等との連携、スマート化によるリスク軽減の取組と併せた外国人材の受け入れ及び女性の雇用等を通じた労働力確保を一層推進すること。

また、人材育成等を通じた事業者の技術力・経営力の強化等を図ること。

### 五 山村地域の活性化

森林空間を活用する新たな産業育成の促進や特用林産物の生産振興を図るとともに、林地残材の積極活用などバイオマス資源の地域内における熱・エネルギー利用による循環の促進、改質リグニンをはじめとする木質系新素材の開発・普及、広葉樹材の活用など地域の森林資源のフル活用を図ること。

右決議する。

以上

# 森林整備・治山事業促進議員連盟総会において 「令和六年度林野公共事業予算に関する決議」が採択!!

去る6月2日(金)16時から自民党の「森林整備・治山事業促進議員連盟総会」が開催されました。

山口俊一(やまぐち しゅんいち)議連会長のご挨拶の後、中谷元(なかたに げん)林政対策委員長から激励のお言葉に続いて、嶋崎(しまさき)全国森林土木建設業協会会長、新谷(しんや)日本林業土木連合協会会長、肱黒(ひじくろ)全国森林組合連合会副会長理事及び津元(つもと)日本治山治水協会専務理事から要望陳述が行われました。



これを受けて、決議文(以下に添付)の審議が行われ満場一致で採択されました。

最後に、山口会長から、『関係者の心をひとつにして予算獲得に頑張っていこう。』との決意表明がなされ、盛会のうちに終了しました。  
＜決議文は下記掲載の通り＞

## 令和六年度 林野公共事業予算に関する決議

我が国は、近年、地球温暖化の影響により、豪雨・豪雪・強風等の自然災害が頻発し、国土の安全・安心な暮らしを確保する上で、森林整備・治山事業の重要性がますます高まっています。また、国土強靱化の観点から、森林の持つ防災・減災機能の発揮を促すことが求められています。この状況を踏まえ、国民の安全・安心な暮らしを実現するため、復旧対策はもとより、事前防災・減災対策を一層強力に推進していかねばなりません。あわせて、林業の持続的発展やカーボンニュートラル、GX(グリーン・トランスフォーメーション)、地方創生の実現に向け、森林吸収源対策を確実に推進することが肝要である。さらに、近年の木材需給が大きく変動する中、国民生活の安定確保のため、木材の安定的かつ持続的な供給体制の確立が喫緊の課題として認識されています。このため、林業の強力的な推進が重要である。以上を踏まえ、森林整備・治山事業の推進について、必要予算を当初予算に盛り込むこととする。

- 一、国民の安全・安心な暮らしの実現に向けて、荒廃山地の復旧対策はもとより、被害の発生を未然に防止する事前防災・減災対策を一層推進するため、治山事業予算の拡充を図ること。
- 一、カーボンニュートラルの実現に向け、間伐、主伐後の確実な再造林、幹線林道等の整備など森林吸収源対策を強力に推進するため、森林整備事業予算の拡充を図ること。
- 一、花粉症発生源対策の加速化や木材の安定的かつ持続的な供給体制の確立のため、路網や機械、資材供給など生産基盤の確保、人材育成など担い手の確保等を推進するとともに、林野公共事業の推進を通じた山村地域の振興を図るとともに、若者・高齢者等にも働きやすく、安全で魅力ある林業となるよう省庁で連携し、スマート・デジタル技術の活用に向けた取組を推進すること。
- 一、国土強靱化に向けた森林整備・治山対策のさらなる加速化・深化を図るため、「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」について、引き続き所要の予算を別枠で確実に確保するとともに、「五か年加速化対策」後も、中長期的な見通しの下、森林整備・治山対策を計画的かつ着実に推進するための枠組みをつくること。
- 一、林野公共事業の強力な推進をはじめ、大規模災害が発生した際の体制強化や現場での事前復旧対策の確実な実施等ため、森林管理局等における現場技術や人材育成・確保を図ること。また、施工条件等特性や資材高騰等の状況踏まえた条件の見える化や適正な工期の設定など、林野公共事業の円滑な実施に向けた取組を推進すること。
- 一、森林環境譲与税は、国民の皆様の協力の下、自然的・社会的条件が不利な森林の整備を推進するという新たな需要に対応するものであることから、既存の財源の代替とならないよう確保するとともに、引き続き、林野公共事業予算がめり込むことのないよう努めることとする。

令和五年六月二日  
自由民主党 森林整備・治山事業促進議員連盟

## 令和 5年 5月 国会の動き

## 《国会関連》

- 9日（火）衆・本会議（刑法案 趣説・質疑）  
 10日（水）衆・農水委（漁業漁場整備法案質疑）  
 10日（水）参・本会議（電気事業法案 趣説・質疑）  
 11日（木）衆・農水委（一般質疑）  
 12日（金）参・本会議（出入国管理法案 趣説・質疑）  
 15日（月）衆・決算行政監視委員会（平成30年度決算他2件及び令和元年度決算他2件 重点事項審査）  
 15日（月）参・本会議（出入国管理法案 趣説・質疑）  
 15日（月）参・行政監視委員会（一般質疑）  
 16日（火）参・農林水産委員会（一般質疑、漁港漁場整備法案 提説）  
 17日（水）衆・農林水産委員会（遊漁船業適正化法案 質疑）  
 17日（水）参・本会議（日本語教育施設認定法案 趣説・質疑）  
 18日（木）参・農林水産委員会（漁港漁場整備法案 質疑、採決）  
 22日（月）参・決算委（令和3年度決算外2件、令和3年度予備費8件 准総括質疑）  
 24日（水）衆・予算委（集中審議：G7広島サミット等内外の諸課題）  
 24日（水）参・本会議（防衛力財源確保特措法案 趣説・質疑）  
 25日（木）参・農林水産委員会（遊漁船業適正化法案 質疑）  
 26日（金）参・本会議（装備品開発生産基盤強化法案 趣説・質疑）  
 26日（金）参・予算委（集中審議：G7広島サミット等現下の諸課題）  
 29日（月）衆・決算行政監視委（平成30年度決算外2件、令和元年度決算外2件 全般的審査）

## 《政党関連》

- 10日（水）自・政調/総合農政/農林部会 合同会議（1.特定技能2号の対象分野追加（農林関係） ②「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」中間報告案についての報告 ③団体ヒアリング（全国農業会議所、食品産業センター）  
 10日（水）自・政調/林政対策委員会（①事業者・団体ヒアリング、フォレストエナジー、上野村 ②花粉発生源対策について）  
 11日（木）公・復興・防災部会（①石川県能登地方を震源とする地震の被害状況 ②「骨太の方針2023」に向けた部会提案について）  
 12日（金）自・政調/災害対策特別委（石川県能登地方を震源とする地震の被害状況）  
 25日（木）自・政調/総合農林政策/農林部会/林政対策委 合同会合（国民生活に不可欠な木材の安定的かつ持続可能な供給とカーボンニュートラルの実現に向けた森林・林業・木材産業政策の展開について（案）

## 令和 5年 5月 業界の動き

- 12日（金）令和5年春の叙勲 伝達式（農林水産省講堂）  
 12日（金）住友林業・京都大学「世界初、10 か月間の木材宇宙曝露実験を完了と発表 ～木材用途の拡大、木造人工衛星(LignoSat)の打上げを目指して～  
 15日（月）令和5年春の褒章 伝達式（農林水産省講堂）  
 13日（土）第32回 森と花の祭典－「みどりの感謝祭」式典開催（イイノホール）  
 17日（水）「林業デジタル・イノベーション総合対策」のうち「戦略的技術開発・実証事業」の 令和5年度事業概要 発表  
 20日（土）「令和5年度山地災害防止キャンペーン」スタート（キャンペーン期間：5/20～6/30）  
 25日（木）全木連・全木協連 通常総会（新木場・木材会館）  
 30日（火）令和4年度森林・林業白書公表  
 31日（水）日本森林学会が行う林業遺産に「能登のアテ林業」及び「北山川の筏流し技術」を認定